



Facebook 配信中!
今すぐアクセス!!



第49号

平成30年2月15日発行

まきのらはら 議会だより

静岡県牧之原市議会



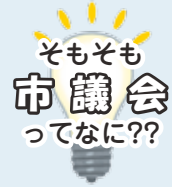
- 10議員が新市長に問う! (一般質問)
- 新連載! 「市議会を知ろう!!」
- 常任委員会での調査内容が決定!

さて、今日のスコアは?

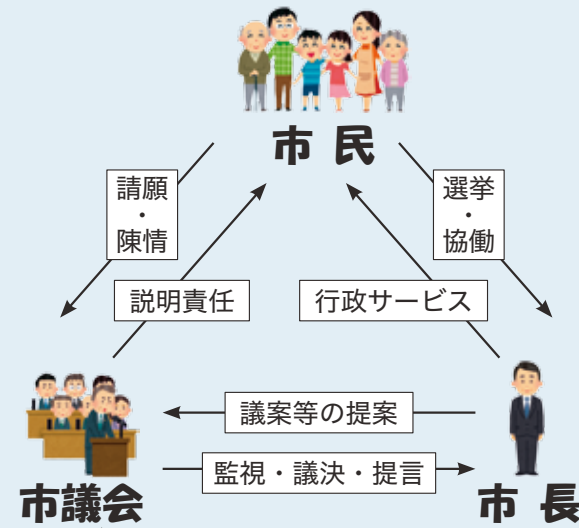
～第1回～
牧之原市議会のしくみ

新連載！

市議会を知ろう!!



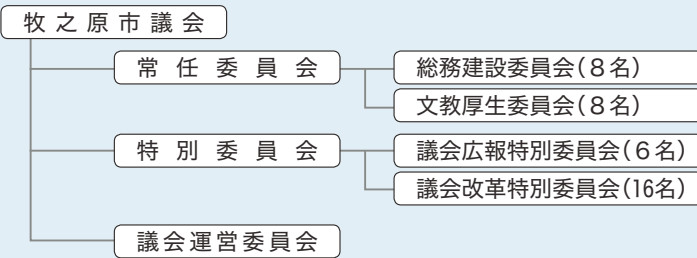
私たちが住んでいる牧之原市を快適に住みよいまちにするためには、市民のみなで話し合い、意見を出し合うことが一番良い方法です。しかし、牧之原市民4万6千人が全員集まって話し合うことは不可能です。そこで、市民の中から代表の人（議員）を選んで話し合いをしてもらいます。市長の考えを聞きながら、より良い牧之原市にするために話し合いをするところを「牧之原市議会」と呼び、市議会の役割は市民の代表として市民の意見や考えをまちづくりに活かしていくことです。



市議会には、市長からの提案を決定・監視するだけでなく、議会からの政策提案や国・県へ意見を言うことなど他にも様々な権限が認められています。



牧之原市議会には現在、2つの常任委員会と2つの特別委員会、議会運営委員会があります。

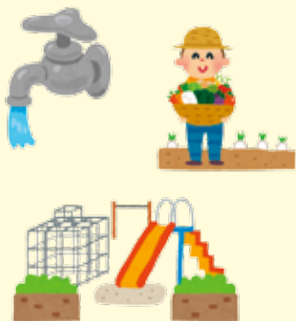


市議会議員全員が集まってものごとを決める会議を「本会議」といいます。しかし、市にはとてもたくさんの事業があり、これをひとつひとつ全員で話し合って決めることは時間がかかります。そこで、牧之原市議会では、事業の種類によって2つのグループに分けて、細かいことまで詳しく調べたり、議員同士で話し合ったりします。この2つのグループのことを「常任委員会」と呼び、議員はどちらかの常任委員会に所属しています。

～常任委員会が担当する事業～

～総務建設委員会～

- ・ まちの計画
- ・ 財政
- ・ 道路 河川
- ・ 防災
- ・ 水道
- ・ 公園
- ・ 観光
- ・ 農業 漁業



～文教厚生委員会～

- ・ 学校
- ・ 図書館
- ・ スポーツ
- ・ 環境
- ・ 健康
- ・ 福祉
- ・ 病院
- ・ 税務



～正副議長・委員長 所信表明～



議長
太田 佳晴

直面する市の課題について、より問題解決力の備わった議会を目指します。また、議会改革を進めるうえで、議会事務局の役割について考え直す必要があると考え、議会と事務局が一体感を持ち、議会に求められる政策立案機能の向上を図っていきたいと考えています。

そして、前議会からの申し送りとなつていて県内市議会でも最低水準の議員報酬については、方向性をまとめていかなければなりません。報酬については、市民の皆さまからいろいろなお意見があり、大変難しい問題ではありますが、責任を持った結論を出していきたいと考えています。さらに、周辺市町との連携・良好な関係構築を市長へ強く訴えていきたいと思っています。



副議長
鈴木 千津子

平成30年を迎え、牧之原市も杉本新市長による市政が始まりました。活気ある牧之原市となるよう、大いに期待したいと思っています。

牧之原市議会は新議員4名を迎え、これまで以上に市民の皆さまとの意見交換や議会の活性化につながるよう更なる努力をして参ります。

牧之原市は、陸（相良牧之原インターチェンジ）、海（御前崎港第二バース以降は牧之原市に建設予定）、空（富士山静岡空港）の交通インフラがそろつており、これからもつと発展していく地域です。また、冬でも比較的温暖な気候という点でも、日本でも有数の住み良い地域です。

市民の笑顔が溢れ、より活気ある素晴らしい地域にするため、皆さまの信頼を損なわぬよう邁進してまいります。



文教厚生委員長
大井 俊彦

文教厚生委員会の所管は、教育、健康福祉など市民の皆さまの生活に深く関わりのある重要事項であります。

今回、委員会では、特に「生涯健康システムの構築」と「学校給食の無償化」の2点に絞り調査研究をしていくことといたしました。市民の皆さまとの対話や先進地の視察などを実施し、政策提言として取りまとめていきます。



総務建設委員長
名波 喜久

総務建設委員会は、総務・政策協働・産業経済・建設等に関する部署を主な所管としています。

人口減少の進む中、市内の産業・風土・歴史・資源を再認識した中で、静岡空港・国道473号・御前崎港を結ぶ利点を生かし、将来を見据えた牧之原市活性化に向け、皆さまの知恵をいただきながら、市政チェック・提案・提言に努めてまいります。



議会運営委員長
大石 和央

市議会では平成21年9月に議会基本条例を制定して、議会運営の基本に則り、市民に開かれた議会及び市民参加を推進する議会を目指して活動してきました。

これまでの不十分さは認めませんが、新たな議会構成で議会活動に取り組んでいます。さらに議会の見える化と分かりやすさの追求、市民との多様な意見交換を進めていきます。



田沼意次肖像画

委員会の主な審査内容



壱丁田北線被災状況

○国の災害査定を受けるため結果を注視したい。所管委員会として問題意識を持つ必要がある。

市道壱丁田北線で発生した災害について

委員から出た意見

平成29年度一般会計補正予算
※質疑はP7へ掲載

市 政に対する 総括的な質疑

問 2年後に控えた「田沼意次侯生誕300年」を主要コンテンツとして全市的に取り組むと述べられたが、市が主体となつて行っていくのか。予算措置は

（平口）

答 庁舎内に検討組織を設ける。行政と民間団体も一緒になつて組織を立ち上げたい。予算の規模はまだこれからだが、来年度予算にも反映していく。

総務建設委員会 (委員長 名波 喜久) 12/12開催

市の執行体制固まる!! 副市長人事案（横山裕之氏）を同意

12月定例会

12月2日～12月22日

12月定例会では、議案6件が提出され、全て可決・同意されました。

副市長の人事案では、元市職員で政策協働部長、産業政策理事、新拠点整備室所長などを歴任された横山裕之氏が提案され、全会一致で同意しました。

監査委員の人事案は、識見を有する監査委員として、市内に税理士事務所を構えている飯塚貴穂氏が提案され、全会一致で同意しました。どちらも任期は4年となります。

提出件数				
議案(予算)	議案(条例)	議案(その他)	諮問	専決
2	1	1	—	—
認定	同意	報告	議員議(条例)	請願決議意見書
—	2	—	—	—

		件名	結果	概要
補正予算	総	平成29年度一般会計補正予算（第5号）	可決	1億6,854万4,000円を増額し、一般会計予算を203億3,827万6,000円とするもの。
	総	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	79万7,000円を増額し、特別会計予算を1,255万7,000円とするもの。
人事案件	—	監査委員の選任について	同意	監査委員に飯塚 貴穂氏を選任するもの。
	—	副市長の選任について	同意	副市長に横山 裕之氏を選任するもの。
変更規程	文	牧之原市と藤枝市との間の救急医療事務の委託に関する規約の変更について	可決	藤枝市にある志太榛原救急医療センターの会計処理方法の変更を行うもの。
制条例	文	教育あり方検討委員会条例の制定について	可決	魅力ある教育環境実現のため、教育環境の具体的な方向性を検討する組織を設置するもの。

総 … 総務建設委員会へ付託された議案

文 … 文教厚生委員会へ付託された議案

議案に対する 主な質疑

副市長の選任について

民間の活力や柔軟性の
取り入れ方法は

あり方検討会での
検討の範囲は

教育のあり方検討委員会
条例の制定について

委員に事業者を
含める目的は

問 「教育のあり方検討委員会条例」の委員のうち、事業者とあるがその目的は何か
（藤野）

答 民間の経営感覚、必要とする人材や能力等の意見を聞く。企業の考え方を中学校の授業に取り入れることはない。

問 市長、副市長ともに行政出身者となる。安定感が増す一方で、民間の活力や柔軟性はどのように取り入れるのか（平口）

答 民間団体のシンクタンクの組織を活用した意見交換の場を設け、政策に反映していく。

問 教育環境の実現のための検討会設置条例だが、どこまでの計画をまとめるのか（大石）

答 市教育大綱の教育の目標と基本方針を踏まえ、公共施設マネジメント基本計画を視野に入れて、望ましい教育環境について検討していく。



坂部区民センターのエアコン取り替え工事について

○故障してからではなく、耐用年数を把握し、定期的に交換していけばよいのではないか。



坂部区民センター

平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算 ※質疑はP7へ掲載

○ポンプが2台同時に故障したというのだが、管理が不十分ではないのか。

2議案とも討論なく、全員賛成で可決されました。

議案ピックアップ

（牧之原市と藤枝市との間の救急医療事務の委託に関する規約の変更について）

志太榛原地域救急医療センターは、夜間・休日の急患を受け入れています。藤枝、島田、焼津、吉田、川根本町、牧之原の4市2町で運営されており、牧之原市に住んでいる方も利用することができます。



《診療時間》
月曜日～木曜日 午後7時30分～午後10時00分
金・土・日曜日 午後7時30分～翌日午前7時まで（年中無休）
《診療科目》
内科、小児科
《住所》
藤枝市瀬戸新屋362-1
（藤枝総合庁舎となり）
《電話》
054-644-0099

牧之原市と藤枝市との間の
救急医療事務の委託に関す
る規約の変更について

藤枝市に運営を委託している「志太榛原救急医療センター」では、今まで診療費等の収入を藤枝市が集め、医療センターに委託していたが、委託料に対し消費税が発生していたため、医療センターが直接診療報酬を受けられるよう規約を変更するもの

委員から出た意見

○規約変更により消費税相当分の負担が減るが、一方で今まで無駄にその分を抛出していたことは残念。類似の規約が他にもないかどうか市として精査すべき。

牧之原市教育のあり方検討委員会条例の制定について

牧之原市として魅力のある教育、学びたい学校、学ばせたい学校、地域のかかわり方など、教育環境の具体的な方向性を概ね1年間で検討するもの

委員から出た意見



○平成31年3月までに期間を区切ってしまい、今後20年間を見据えた協議をしきれるかどうかが疑問。総合計画が順調に進めば、本来人口減少は抑制される。逐一変化していくものに対し、短期間で見据えたものができるかどうかの思いはある。

○学校の再編計画はないとの答弁であったが、条例の解説には『再編計画』と書かれており、矛盾がある。来年度いっばいで検討を行うのであれば、再編計画まで手が届かないのではないか。教育のあり方は最重要であるので基礎部分を市として確立させた中で行うべき。

2議案とも討論なく、全員賛成で可決されました。

委員会の主な審査内容

問 過去の実績から規約変更前と変更後ではいくらくぐらい差異が生じるのか

答 200万円程度は減るのではないかと想定される。

問 構成市町で金額が違っている市町と牧之原市ではどのくらい違うのか

答 藤枝市の負担金は平成30年度予算案で2228万4000円、牧之原市は335万6000円。各市町の負担は、利用割が60%で人口割が40%である。



藤枝市にある志太榛原地域救急医療センター

問 委員以外の各分野専門家などの出席は、どのような人物を想定しているのか

答 具体的に決めている人はいないが、7月に講演いただいた文部科学省や中央教育審議会委員の方から意見を聞く機会も考えている。

問 学識経験者2名に対し、費用弁償が4万円計上されているが、市外・県外を想定しているのか。また、委員報酬はいくら支払うのか

答 学識経験者で想定している人は市外の大学の先生である。委員報酬は1日7000円としている。ただし委員会は1日開かれることはないため、減額規程より1回3500円を考えている。公立の学校関係者である場合は支払わない。

補正予算の審査

補正予算とは…

市の予算は、毎年2月に翌年度1年分が組まれます。(この予算を『当初予算』と呼びます)4月から実際に事業を進めていく上で、年度途中で急遽、必要(不要)になるお金が出てきたときに組まれる予算のことを『補正予算』と呼びます。

〈農業集落排水事業特別会計〉

○補正予算 79万7000円
(補正後の予算総額1255万7000円)

○補正予算の主な内容

- 浄化槽の原水ポンプ槽に設置してあるポンプ2台の修繕料 (27万円5000円)

補正予算への計上についての妥当性は



原水ポンプの老朽化について

問 原水ポンプが2台とも老朽化したとのことだが、1台は確実に動かせるようしておくべきでは (植田)

答 既に1台が止まっている。同時に壊れることも想定されるため、交換時期をずらす。

答 電波法に基づき、無線局は5年に一度不定期の検査となる。今年度に入り通知があったため、補正予算計上した。

問 無線局の定期検査と再免許申請は、当初予算の段階からわからなかったのか (植田)

感震ブレーカー設置補助の対象は

問 感震ブレーカーの設置に対する補助金は個々を対象とするのか。地域を対象とするのか (澤田)

答 就学援助の認定者が増加したための増額だが、具体的な人数は (藤野)

就学援助費の増額について



小学校が154名、中学校が67人となっている。

～今定例会の補正予算の主な内容～

〈一般会計〉

○補正予算 1億6854万円
(補正後の予算総額 203億3827万6000円)

○補正予算の主な内容

- 旧片浜小学校の利活用に向けたプール撤去及び駐車場等整備工事 (2100万5000円)
- 防災無線や電波の定期検査と再免許申請のための委託費 (130万円2000円)
- 避難地・避難路へ整備するソーラー照明灯及び感震ブレーカーを設置する住宅に対する補助金 (230万円)
- 細江1号幹線の道路改良に係る工事費 (945万3000円)
- 市道壱丁田北線が災害発生に伴い通行止めとなっているため、仮設道路設置に係る工事費 (5000万円)

市政を問う!! 一般質問

大井 俊彦



子育て支援の充実を

答 地域の実情に合った支援策を実施

市の総合計画でも、新制度に基づき「全ての子どもが地域で楽しく、遊び、学ぶことができるよう地域や企業による子育て支援の理解を深め、地域が子どもたちを見守る仕組みづくり、子育てを行う親を支援する仕組みづくり、楽しく子育てができる体制の構築、子

育てと仕事が両立できる職場環境の整備を進めていく」としている。

問 子育て支援センター運営事業について具体的な事業内容とその成果は

答 事業内容は、未就園児とその保護者などが来所し、安全に安心して遊べる場を提供することを基本とする。また、指導員を配置することで、保護者への育児アドバイスや子育てに関する相談などの対応を行っている。子育ての不安や孤立感の軽減に寄与していると思う。

問 事業を進めていく中での課題とその対策は

答 事業実施に係る人材の育成が課題となっている。参加者から、子育ての現状や不安についての相談に対応する職員やファシリテーターなどの育成に努めていく。

問 地域の実情に応じた子育て支援の具体的な組みは

答 ファミリーサポートセンターの開設、妊娠・出産包括支援事業、子育てセミナーなどを実施している。



福祉センターの改修は喫緊の課題であり積極的に進めたい。

また国の地方財政計画が示されていないが、地方交付税からの歳入は厳しく見積らざるを得ない。税収は75億程度を見込んでいる。歳出では民生費、特に扶助費の伸びが大きい。

問 優先的、重点的に予算配分した事業はなにか。儲かる農業の推進を掲げているが具体的な構想はなにか

答 農業集積や圃場集積を推進し、例えば白ネギ・自然薯・イチジクなど収益性の高い作物を栽培する転作経費を補助する制度を検討したい。

問 予算執行する組織体制はどうする考えか。機構改革はどんな構想を考えているか

答 情報発信機能の強化、福祉部門での切れ目ない支援体制の構築に伴う改編等を検討している。

問 3か所に分かれている福祉行政を将来「さぎんか」に集約することは市民の利便性向上に繋がる。空きスペースの活用は如何するのか

答 児童の発達支援、子供の相談窓口等を一本化して関連部署が統合して対応する。医療・介護・福祉の切れ間ない支援をしている。



高台開発を推進している
相良牧之原 I C北側整備事務所

地域包括ケアシステムの構築は

答 地域での共助の仕組みづくりが重要



推進、生活支援体制の充実・強化を進めており、それぞれの施策の成果が見えてきている。

問 地域に見合ったシステムを構築し、それを軌道に乗せていくことが重要である。市の考えを伺う。

答 システムの構築にあたっては、高齢期になっても安心して生活を送るために、市民同士がお互い様の気持ちで、共に助け合い支えあって暮らしている地域の仕組みづくりが重要となる。

問 輝く高台プロジェクトなど5つの重点事業を着実に実行し、成果を上げる横断的に取り組む柔軟で機動性の高い組織を考えているとのことであるが、インター北側の高台開発の推進体制はどうするのか

答 リーダーシップをしっかりと取って推進していく。

動画配信中！

白熱の論戦！全内容をご覧になるには…

牧之原市 議会中継 検索

平成29年第6回 12月定例会『一般質問』

1. 大井 俊彦

2. 中野 康子

クリック!

クリック!

継続と改革を掲げ、牧之原市の舵取りを市民から託された杉本新市長。第2次総合計画の確実な実行、日々変化する社会情勢に対応した改革が必要であり、市民参加と協働を基本とすると表明され

儲かる農業の推進と産業の振興は

答 高収益性作物への転作経費を補助

問 平成30年度予算はどのような編成方針で臨まれるのか。現時点で歳入、歳出をどのように見通しされているか

答 儲かる農業の推進などの産業振興、認定こども園化や保育料の軽減などの子育て支援、ICT機器の整備や学習支援サポートの増員などの特色ある教育、また健康



村田 博英

問 東京五輪サーフィン競技の行方は

答 ウェイブプール構想含め支援する

答 2017年7月にホストタウンに登録された中国に続いて、アメリカ合衆国も12月11日に登録された。受け入れの諸手続きは整った。あとはこちらのお願いで対し先方の回答待ちである。

問 ウェイブプール構想事業の白紙についてその理由と至った経緯を伺う

答 理由は用地の拡大による初期投資額の増加、土地の権利解消手続き、営農希望者対策などの課題が発生し、タイムスケジュールにずれが生じたことが要因だと思われる。なお事業者は、静波地区での計画は一旦白紙であるがウェイブプール事業は継続していくというものである。市として今後も積極的に支援をしていく。

問 ウェイブプール関連用地の地権者や地元市民から失望の声を聞く。説明をしたのか。納得のいく丁寧な説明をしてほしい

答 関係の方々には説明会を開催し十分な説明と報告をする。

問 地権者への通知は10月吉日であった。議会へは選挙前に報告がされず11月27日になって報告された。2カ月近くも報告が遅れたのはなぜか。また通知の差出人が前市長名であり、任期中に報告があつて然るべきではないか

問 オリンピックは日本全体で107兆円の経済効果があると発表された。この千載一遇のチャンスに議会も全面支援してき化事業をどう進めていくのか

答 ホストタウンの登録を受けたので、その推進またビーチスポーツのイベントを行っていく。静波、相良、地頭方地区の活性化組織が立ち上がり、そこを中心に沿岸部活性化を進めていく。



2016年6月3日 静岡新聞朝刊掲載



開催地招致パンフレット

動画配信中！

白熱の論戦！全内容をご覧になるには…

牧之原市 議会中継

検索

平成29年第6回 12月定例会『一般質問』

3. 村田 博英

4. 鈴木 千津子

クリック！

新市長の公約「継続と改革」の中より、市民からの質問が多い3項目（沿岸部活性化、道の駅設置、国道150号バイパス）について問う。

問 市内国道150号バイパス整備は

答 事業化の見通しが立っていない

問 海（道）の駅の設置について、具体的な構想とは

答 すぐに海（道）の駅の設置はできないが、沿岸部活性化計画の中で広域観光交流施設の整備・検討が挙げられている。沿岸

問 南駿河湾漁協（榛原地区4漁協の合併）が誕生して2年が経つ。今後の地域管理について検討が必要ではないか

答 「牧之原市沿岸部活性化計画」の具現化のため、相良地区では「相良沿岸部活性化推進委員会」が、地頭方地区では「プレスト地頭方」が活動している。

問 海浜公園の維持管理費に年間120万円かかっているが、十分な管理とは言えない。今後は地域住民との共同管理手法も検討していく。

答 現時点では事業化の見通しが立っていない。計画にも

問 焼津、御前崎、牧之原、吉田の3市1町で組織する「国道150号バイパス建設促進期成同盟会」の要望活動を積極的に行うと同時に、浜岡原発4市対協（御前崎、牧之原、菊

答 現時点では事業化の見通しが立っていない。計画にも





大石 和央

問 焼却施設建設ありきで進めるな

答 様々な手法を検討して提案したい

ごみ処理は二つの広域組合施設で実施している。その費用負担金は、市の前年度決算ベースで約6億7000万円。歳出総額の3.4%を占めている。ごみゼロ政策による歳出削減を提案する。

問 ごみ焼却場の更新等は、いつまでに結論を出すのか
答 平成39年度には、両組合の施設が共に限界耐用年数を超える。更新には基本構想から稼働まで10年を要し待たなしの状況。早急に両市町との協議を行い、結論を出したい。

問 一般廃棄物処理基本計画にはバイオマス施設の導入計画があるが
答 市内にある民間のバイオマス発電施設を活用させていただき、事業系の一般廃棄物の中の食品残渣の処理を委託することも選択肢の一つである。

問 焼却ごみの内容分析を見ると、紙・布類が約半分を占め、これをさらに分別しリサイクルする。そして生ごみはゲネシス



牧ノ原バイオガス発電所：運営（株）ゲネシス

社のメタン発酵発電で処理すれば、新たな焼却場の建設はいらなくなるが
答 平成25年から2年かけて2市1町で処理施設の検討を行った。様々なことを検討したが、なかなか難しいということ。協議の中で施設の建設・維持等の分析があるので、これを参考に首長には判断していただきたいと考えている。

問 浜岡原発永久停止の手段や行動は

答 リスクを考え再稼働すべきでない

問 市長の永久停止の表明だけで再稼働の流れは止められない。「永久停止都市宣言」や条例制定などできないか
答 県や原発立地市のみの判断で再稼働できる状況はない。これは安全協定で担保されている。現在、再稼働についてどんな権限で判断するのか、認可責任が不明確である。このため「原発稼働認可についての法制化」を国へ要望していく事項として周辺市町で協議を進めたい。



動画配信中！

白熱の論戦！全内容をご覧になるには…

牧之原市 議会中継 検索

平成29年第6回 12月定例会『一般質問』

5. 大石 和央

6. 植田 博巳

クリック！

植田 博巳

問 新市長四年間の政策実行は

答 オール牧之原体制で取り組む

新市長、新副市長体制になった牧之原市。課題が多様化しているなか、市長公約（マニフェスト）を確実に実行する意気込みとスキームを伺う。

問 近年、課題の多様化などから、専門性と横断的業務が増加している。中長期的な観点から助言できるシンクタンクの設置を
答 市長、副市長と行政マンである。企業経営者、大学教授などの専門家、市民の方など、内外からの提案をいただけるシンクタンクを築く。

問 職員を大切に考えることが、市民ファーストの行政となると思うが
答 常に、職員との情報共有、対話、ワークライフバランスなどが大切であり、環境づくりを実施していく。

問 有権者に対して、選挙公約（マニフェスト）の実施状況の見える化、公表を提案する
答 有権者に対して、選挙公約（マニフェスト）の実施状況の見える化、公表を提案する

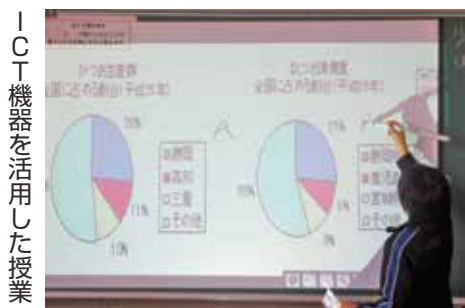
問 着実に市民が実感できる成果を上げていくことが必要であり、進捗状況は市民に見える形で示す。
答 毎年マニフェストに対するレビュー（見直し、評価）と、最少の費用で最大の効果を出すことが求められる。専門家や市民が入った外部の目線でチェックする仕組み（事業仕分け）を提案する

問 社会情勢の変化、マニフェストの見直しなど必要となる。検証の場は必要。
答 外部事業仕分けは、調査し、方針を決めていく。

問 市では、特色のある教育施策として「ICT教育と英語教育」としているが、今後どう取り組むのか
答 力強く進めていく。機器だけでなく、ICT機器を活用した授業

問 市には医師不足が原因と考える。学校教育が全国のトップクラスになるよう知名度を上げることが、子育て世代の転入につながり課題解決になると理解しているが
答 特色ある教育により、子育て世代の多くが牧之原市で教育を受けさせたいと言えるよう進める。具体的に考えている。しっかりと検証して予算化に努める。計画性をもって進めていく。

問 現在の対話手法から循環型対話により、高校生などが空き店舗の改修プランから運営まで行える実践的なものになり、地域活性化と真の人材育成創出に繋がるか
答 確実に実践できるように取り組む。



ICT機器を活用した授業



平口 朋彦

動画配信中！
 白熱の論戦！全内容をご覧になるには…
 牧之原市 議会中継 **検索**

平成29年第6回 12月定例会『一般質問』
 7. 濱崎 一輝 **クリック！**
 8. 平口 朋彦 **クリック！**

問 新体制の推進する未来への戦略は

答 税収増による自主財源確保を図る

問 財政規律として設けている「起債残高200億円以下（市の借金）」は今後も堅持していくのか

答 投資的な事業の推進は重要だと考える。1つの基準として基本的には堅持していくが、手遅れにならないよう種をまかねばならない時には枠を超えた予算も必要。のちに税収として、しっかりと収支・回収が見込めるものには投資をし

問 公約として掲げられた「継続と改革」のうち、「改革」を象徴する独自の取り組みは

答 職員の更なる意欲向上など市役所の仕組みから改革に繋げていく。「できない理由を考えるのではなく、どうすればできるのか」という知恵を出す「ことを職員との対話の中で進めていく。

問 20年後の「牧之原市」に向けて交付金に頼らない「不交付団体」を目指すのも、目標の1つとしてありえる。

答 人口獲得は容易ではないが自立した活気あるまちに。

問 今後、力を入れる部分をあえて1つ上げるとすれば

答 活気あるまちづくりへの施策は重要だ。特に、若者や女性を中心とした雇用に繋がる大規模商業施設や、特産物などの観光物販施設、空港利用者を見込んだ宿泊施設などを地域の将来像とした「相良牧之原IC北側の開発」は起爆剤の1つとなる。

問 計画の進捗は

答 相良総合グラウンドの芝生化を計画に位置付けている。今年度は各種調査を始めており、来年度は管理運営の手法を検討、

問 平成28年に「牧之原市スポーツ推進審議会」から、グラウンド芝生化について、その効果や適地、整備手法などが建議された。その後の状況を聞く。

問 財源確保については

答 補助金など試算はしているが、しっかりと詰めている段階ではない。今後は工事から運営、維持管理までを民間で公募するやり方が良いのではと考える。

問 予定している規模は。整備されれば県内で何番目の大きさか

答 面積的にはおおむね2万5000㎡。サッカーでいえばフルコートが2面、ジュニアコートが4、5面できる。この規模だと県内には「エコパ」など2つしかなく3番目となる。大きな大会や合宿などの誘致が可能となり、宿泊・飲食などかなりの経済波及効果が期待できる。

市誕生以降、2人目となった新市長に目指す将来像、向かう道筋をお聞きする。

一般質問



濱崎 一輝

問 中学での社会人による出前授業は

答 必要性を周知・広報していく

子ども達の将来の職業選択と、ミスマッチによる早期退職防止の観点から、義務教育課程での「キャリア教育」と「職業教育」の重要性は年々増してきている。その上で、従来から市が行っている「キャリア教育」と「職業教育」



こころざし講和会

問 現在、義務教育課程の小・中学校で市が行っているキャリア教育と職業教育の取り組みは

答 小学校においては、は、地域に出向いて様々な職業人に接することで、実社会とのつながりを意識させることに配慮している。中学校においては、1年生で身近な人の職業調べ、2年生で3日間の職業体験、3年生で就きたい職業を見据えた上級学校調べを実施している。

問 具体的に行っている事例を教えてください

答 中学校では、産業祭でお店を出し特別支援学級の子ども達が作成した鍋敷き・小物入れ等を販売する実践活動を行っている。

問 相良小学校では、地域の方のサポートのもと落花生とサツマイモを栽培し、商店街にて販売した後、納税の義務についても学ぶ取り組みを計画している。

問 中学校において、現場で働く職業社会人による少人数による出前授業を、市として取り入れていく意向はあるのか

答 現在、卒業生を中心に、多様な職種の人材を講師として招き、学校全体として話しを聞く機会を設けている。学級単位で講話を聞くという形態

問 AI（人工知能）時代に対応するために、どのようなキャリア教育と職業教育を行っていくのか

答 今後、市として各校の実態に合わせた取り組みを継続しながら、各学校にもその必要性を周知・広報していく。

問 一つの時代にあっても、子ども達が自分の良さを、自分の力を発揮できるようにしたいと考えている。そのために、「毎日の授業の充実」と「地域との連携」で、「自ら切り開いていく力」「よりよい社会をつくり出す資質・能力」を育てていきたい。

答 具体的な内容については、これからスタートする「教育のあり方検討委員会」で一緒に協議していく。



牧之原中学校のお茶摘み体験学習



藤野 守

動画配信中！

白熱の論戦！全内容をご覧になるには…

牧之原市 議会中継

検索

平成29年第6回 12月定例会『一般質問』

9. 名波 喜久

10. 藤野 守

クリック！

クリック！

問 財政健全化と財調基金の活用を

答 財調基金を福祉施策へも充てる

牧之原市は平成18年度策定の「公債費負担適正化計画」により、平成28年度実質公債費比率は9.9%と改善しつつある。また、財政調整基金残高は32億円と、財政は健全化されてきた。

問 財政調整基金は28年度決算時点で32億円ある。これを

答 基本的に起債残高は200億円以下としていきたいが、市民サービスや公共施設管理として維持、修繕などの要望もあり、減らしにくい面もある。実質公債費比率は県内市町の平均程度を目標としている。

問 財政指標の目標値をどの程度としているか

答 財政調整基金残高、市債残高、実質公債費比率など財政指標については国の定める基準と比較し健全である。しかし今後見込まれる福祉サービス等の行政需要の点から財政運営は厳しいといえる。

問 市財政をどのようにつまえているか

答 財政調整基金残高、市債残高、実質公債費比率など財政指標については国の定める基準と比較し健全である。しかし今後見込まれる福祉サービス等の行政需要の点から財政運営は厳しいといえる。



問 各地の原発再稼働の動きに対しての考えは

答 各地の原発再稼働の動きに対しては、非と全国的な原発再稼働の動きがある中で、国の原子力政策、また避難計画の実効性等、原発災害から市民を守る施策について伺う。

問 原発再稼働の是非と安全施策は

答 浜岡原発は再稼働すべきでない

問 各地は経済等総合的判断により、稼働の選択をしており、他地域の原発についてコメントする立場ではない。浜岡原発は南海トラフ地震の震源域にあるUPZ圏内に84万人の人口を抱え、産業、主要な交通路等を考慮し再稼働すべきでない。

問 原発災害から市民を守るための施策は

答 核燃料8942体があり、速やかに乾式貯蔵施設を建設し、移設すべきである。原子力災害広域避難計画について課題は山積している状況である。安定ヨウ素剤の市内全域への事前配布ができるよう今後も国県に働き掛ける。市としては当面実行性のある避難計画策定に努めていく。



名波 喜久

一般質問

問 危険な海岸一帯の侵食対策は

答 県へ早期対策の要請を行った

第2次総合計画の沿岸部活性化を進める中において、早急な対策が求められる事態が発生した。本年10月の台風21号の高潮により、さながらサンビーチ南方面の海岸一帯が侵食され崖状態となり、津波の際海岸にいる人の逃げ場がなく、非常に危険な状態となっている。

問 現状確認による今後の対応は計画されているのか

答 防風林付近に大量に堆積した砂が、高波によって侵食されたことで、高低差が生じ、非常に危険な状態になっていることは、海岸管理者である県と市も確認している。このような状況下において、茶々屋敷周辺部の海岸侵食対策の早期実施の要望書が市に提出されたため、県に早期対策の要請を行った。海岸管理者である県では、今月中に防風林と海岸部の段差をなくすため、堆積した砂をならす対策工事を予定し、その他の場所についても現地調査を行った上で、対策を検討することになっている。

問 防風林との共存について、関係機関と調整をしていく。

答 防風林との共存については、保全を基本として対策を進めていくよう、関係機関と調整を行っていく。



侵食がすすむ海岸



給食時間は和やかな雰囲気だった

このほど、文教厚生委員会、所管事務調査の参考にするため、相良小学校を訪問し4年生と一緒に給食の試食をして意見交換をしました。

メニューはボリュームのあるもので、黒糖パン、ほうれん草のソテー、ブロッコリーグラタン、レタスとトマトのスープでした。あたたかくて大変おいしく、全員完食しました。子どもたちは、普段とは違う雰囲気

委員会活動

文教厚生委員会

小学校4年生と給食について意見交換

給食はおいしいかな？



当日のメニュー

給食時間でしたが、給食のこと、授業のこと、休み時間のことなど楽しそうに話をしてくれました。

教室には、本年度統合した片浜小学校から転入してきた子どもたちも数人いましたが、みんなすっかり溶け込んで、仲良くしている姿を見て安心するとともに、子供たちの順応の早さに驚きました。

今回の訪問を基に委員会では議論を深め、より説得力のある政策提言につなげていきます。

常任委員会の調査事項が決定

本会議では、常任委員会は市の提出議案について審議を行っています。その他にも常任委員会では任期（2年）の間、本会議の閉会中においても市の諸課題の中から、懸案事項などについて、調査・研究テーマを設定し、提案・提言に向け委員会を開催します。

総務建設委員会

市の活性化と観光について



人口減少・少子化の進行は、牧之原市だけでなく地方が抱える課題であり、若い世代の流出が最大の要因であります。これら諸課題解決は地域経済の活性化が必要であり、各施策に委員会として関わっていくことが重要であると結論づけました。

そこで、牧之原市の産業・歴史などと絡めた中で、地域資源を掘り起こし、まちに人を呼び込む方策として沿岸部活性化に視点を置き、多角的にみた観光という側面から「市の活性化と観光について」をテーマとして設定しました。

今後、現状を把握・検証した中で提言をまとめていきます。



文教厚生委員会

学校給食の無償化について 生涯健康システムの構築について



全国的に、少子高齢化による様々な問題が表面化し、牧之原市にも多くの課題が突きつけられています。

少子化は人口減少・人口流出は街の衰退に繋がります。これを食い止めるには、若年層や子育て世代の定住・移住対策が急務です。その対策として全国的に広がりを見せてきている学校給食無償化を、牧之原市でも近隣市町に先駆けて取り入れることで、若年層や子育て世代に魅力ある街として認識してもらえないかと考え「学

校給食の無償化について」をテーマとしました。

また、高齢化による医療・介護費の増大は自治体の財政を圧迫するものです。この問題を解決するためには、生涯健康で長生きすることが望ましいとの思いで「生涯健康システムの構築について」をもう1つのテーマとし、委員会ではこの2つのテーマについて調査・研究し、提案・提言に繋げてまいります。



牧之原市議会に1名欠員が生じたため、公職選挙法の規定により鈴木長馬氏が繰り上げ当選しました。1月に開催された臨時会で、鈴木議員は議席番号1番（濱崎議員は2番、原口議員は3番へ変更）となり、文教厚生委員会及び議会広報特別委員会へ所属します。また一部事務組合議会は、牧之原市菊川市学校組合及び東遠広域施設組合へ所属をします。



1番
鈴木 長馬
おさめ
東萩間
72歳
1期

「至誠・勤労」
活気ある牧之原市に！

議会を傍聴してみませんか??

議会の会議は全て公開で行われています。市政の課題がどのように話し合われ、決定しているか、ぜひご自身の目でお確かめください。

団体での傍聴も可能です。

詳しくは議会事務局(☎53-2650)まで



昨年の傍聴者数（会期中の会議を全て含む）		
平成29年	2月定例会	113名
	6月定例会	25名
	7月臨時会	0名
	9月定例会	161名
	11月臨時会	4名
	12月定例会	50名

広報特別委員会研修報告

広報特別委員会は4人の新議員を含めた6人で発足しました。今回の研修の目的は、市民にとって読みやすい議会だより作成の参考にするため、全国でも評価されている議会を訪問しました。また、編集作業の基礎を学ぶため、専門講師による研修を受講しました。

- ・専門講師による原稿編集の基礎研修
- ・東京都瑞穂町議会 ・東京都あきる野市議会



議会での研修では編集方針の立て方、編集会議の進め方、紙面のリニューアルへ向けた手順、その他特に工夫している点などについて意見交換しました。また、具体的な説明もあり、今後の紙面改善に向け、より実践的な研修となりました。

議会アンケートでも多くの市民は議会だよりを「読んでいる」と回答しています。今後も読みやすい紙面構成、記事の充実を図り牧之原市議会の様子をお知らせしていきます。

久保直明議員 逝去

去る平成29年12月28日に牧之原市議会議員の久保直明氏(70歳)がご逝去されました。久保氏は大江区長などを務められた後、同年10月に牧之原市議会議員へ初当選し、市民の代表として、これからのご活躍が期待されておりました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心より御冥福をお祈りいたします。



編集後記

議会だより第49号をお届けします。平成29年度の議会が行ったアンケートでは、議会結果が出ています。今、全国の地方議会では様々な課題が指摘されています。議員のなり手が少ない、議会では何がされているのかわからない、議員の活動が見えない等です。指摘を踏まえ、より市民の皆さんにとって読みやすく、わかりやすい議会だよりにするよう、広報委員会では紙面の工夫に取り組んでいきます。本年もよろしくお願ひ致します。

議会広報特別委員会

委員長 藤野 守
副委員長 濱崎 一輝
委員 鈴木 千津子
吉田 富士雄
原口 康之
鈴木 長馬

2月定例会の日程



- | | |
|----------|-------------------|
| 2月26日(月) | 提案説明 |
| 3月5日(月) | 通告質疑
補正予算連合審査会 |
| 7日(水) | 一般質問 |
| 8日(木) | |
| 12日(月) | 当初予算連合審査会 |
| 13日(火) | |
| 14日(水) | |
| 22日(木) | 審議・採決 |

全ての会議を傍聴することができます

牧之原市議会定例会(一般質問等)については、ホームページに掲載されています。

「まきのほら議会だより」は再生紙を使用しています。